

4月1日 9:00 新規採用職員紹介 市長訓示

それではご挨拶を申し上げます。

始めに、山内清二議長ならびに山本芳久副議長におかれましては、何かとご多用の中をご出席いただき、新規採用職員に対してご激励をいただきますこと、誠にありがたく改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、ただ今ここに、大きな希望と決意を胸に整列された8名の皆さんに申し上げます。

いま皆さんの胸の中には、「平戸市職員として地域のために尽くすぞ」という溢れんばかりの固い信念が漲っており、力強い頼もしさを感じます。

皆さんは本日から、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者としての責任をしっかりと認識して、「市民の利益のために何をなすべきか」を肝に銘じながら、若者らしい迫力に満ちた前進を続け、一日も早く郷土の発展のための逞しい原動力となって頂きたいと思います。

さて、以前までは、公務員に対するイメージとして、ややもすると「安定した職業でリスクが少ない」と捉えられている傾向もありましたが、現実決してそんな悠長な職場環境ではありません。特に市の職員は、公務員の中でも市民に一番近く寄り添いながら、最前線の任務を担っています。

実際に業務と直面して真剣になればなるほどその内容は予想以上に厳しく、時には待ったなしの局面が待ち受けていることを思い知らされます。

当然のことながら、時代の流れとともに様々な分野において、変化に適応し

なければならない課題が次々と押し寄せており、それは個々人の価値観の多様化から天変地異など自然現象の在りようまで多岐にわたり、これまでの経験や想定をはるかに超えた対応が求められる現実に悩まされることが多々あることも事実であります。

どうか先人が遺した「初心忘れるべからず」の教訓を胸に上司や先輩職員の指導をしっかり受け止め、どんな困難にも敢然と立ち向かうことのできる優れた組織人として今日から直ちに独り立ちしてください。

時代の変遷を先取りし、地域住民の皆様信頼される職員として常に責任ある行動をとるよう強く求めます。

それから昨日退職された町田和正副市長の後任として、本市職員OBの松田隆也さんに新しい副市長へご就任いただきました。

ご承知の通り、松田隆也さんは、長年本市職員として数多くの行政現場のご経験をお持ちのオールマイティな存在であり、地域にとって馴染みのあるリーダーとしてご活躍いただいております。今後は、副市長としてこれまでの豊富なご経験と高い識見、幅広い人脈をもって今後の市政の発展に大きくご貢献いただけるものとご期待申し上げているところであります。

ここで改めて、全ての職員各位に新年度に向けた決意を申し上げます。

ご承知の通り今日から始まる新年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を引きずりながらの幕開けとなりました。未だ経済回復の糸口は見いだせず、本市の産業振興にも深刻な影響をもたらしています。コロナワクチン接種は希望

をもたらすきっかけとして期待しておりますが、なかなか供給が滞っている状況にあります。まさに世界規模の大打撃となったこの状況を打開していくためには、国や県の施策をしっかりと受け止め、官民一体となった連携と各分野における周到な事前の準備や対策などを講じていくことが不可欠であります。

そのために心がけなければならないことは、これまでの慣例にとらわれず、目の前の事業はいったい何のための、誰のために必要な施策であるべきかという本質を見極め、その目的とされる最大効果を引き出すことに焦点を絞ることです。またその目的の達成のためには、誰が担うべきか、誰と組むべきかという事業推進力や相乗効果などを種々選択しながら迫りくる課題を次々とクリアしていく俊敏かつ柔軟な思考も大切です。

私たちは、ここに新しく加わった職員の皆さんの心意気と同じくして、フレッシュな躍動感を日々の実務に反映する決意を新たに、新年度を改めて「脱コロナ元年」のスタートに位置付けたいと思います。

そして新たに職員となられた皆さんは、これからの毎日を経験豊かな先輩の方々の厳しい指導を仰ぎながら、心を一つにして何事にも臆することなく全力を尽くして努力されることを強く要望します。

以上、新年度における職員の皆さんのさらなる活躍を期待して、年度当初の挨拶といたします。

令和3年4月1日

平戸市長 黒田成彦